

サイバーセキュリティ研究倫理相談TF  
MWS/OWS/UWS連携企画セッション  
Hypocrite Commits論文から考える  
サイバーセキュリティ研究倫理

---

10月27日(水) 10:35～11:55

# セッション概要

OSSコミュニティにおけるコードレビュープロセスを評価するため、Linuxカーネルに脆弱性入りパッチをコミットした論文が、IEEE S&P2021に採択された。論文採択後に、その研究倫理についてLinuxカーネルコミュニティ・S&Pプログラム委員会・著者らの所属大学を巻き込んだ大きな議論になり、結果として著者らは論文を取り下げる事となった。

本セッションでは、同論文の研究倫理面を中心に概観した後、オープンソース開発の観点、ヒューマンファクター/ユーザブルセキュリティ研究の観点、サイバーセキュリティ研究の観点、研究倫理の観点からそれぞれパネリストによる議論を行う。

本セッションは、サイバーセキュリティ研究倫理相談タスクフォースとMWS/ OWS/UWSの連携セッションとして開催する。

IEEE S&P'21 Program Committee Statement Regarding  
The “Hypocrite Commits” Paper

May 6, 2021

[https://www.ieee-security.org/TC/SP2021/downloads/2021\\_PC\\_Statement.pdf](https://www.ieee-security.org/TC/SP2021/downloads/2021_PC_Statement.pdf)

# アジェンダ

時間	内容	登壇者
10:35-10:40	はじめに(5分)	島岡 政基 (セコムIS研究所)
10:40-11:00	<b>Hypocrite Commits論文概説</b> (20分)	渡邊 卓弥 (NTT社会情報研究所)
11:00-11:55	<b>パネルディスカッション</b> (55分)	モデレータ 島岡 政基 (セコムIS研究所) パネリスト 柴田 次一 (Linux Foundation) 金岡 晃 (東邦大学) 秋山 満昭 (NTT社会情報研究所) 篠田 陽一 (北陸先端科学技術大学院大学)

# パネルディスカッション

---

- パネリスト
  - 柴田 次一 (Linux Foundation)
  - 金岡 晃 (東邦大学)
  - 秋山 満昭 (NTT社会情報研究所)
  - 篠田 陽一 (北陸先端科学技術大学院大学)
- モデレータ
  - 島岡 政基 (セコムIS研究所)

## トピック

1. 議論の観点
  - OSSコミュニティの立場
  - Human Subject Researchの観点
  - サイバーセキュリティ研究の観点
2. 論文の査読プロセスの在り方
3. 査読プロセス以外のアプローチの可能性

## 利害関係者

- 開発者・開発コミュニティ (Developer Community)
- 実験参加者 (Participants)
- 研究者の所属組織(とIRB)
- 国際会議やジャーナルの運営主体
  - IEEE S&P、CSS等
- 研究コミュニティを束ねる学術関連機関
  - IEEE、IPSI、JST等

サイバーセキュリティ研究における倫理的な研究プロセスをサポートするには何が必要か？